福島県塙町

１人１台端末の利活用に係る計画

１・１人１台端末を始めとするICT環境整備によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」に基づき、ＩＣＴ機器等を活用し、情報教育の推進、進んで学び、夢を実現できる資質・能力を育成するため、日本型学校教育おいて重視されてきた「協働的な学び」と一体的に実現できる環境整備を目指す。

２・GIGA第１期の総括

ＧＩＧＡ第１期では、１人１台の端末と校内ネットワーク環境の整備を行い、これらを活用したデジタル教材等を導入してＩＣＴ環境の充実を図るとともに、ＩＣＴ支援員を配置してハード・ソフトの両面から支援するなど、個別最適な学びと協働的な学びを実現できるよう環境を整えてきた。一方、課題として、教職員間のＩＣＴの活用能力格差等もあり、学校間、学年間で活用状況に格差が生じる状況がみられた。今後は、児童生徒のレベルに応じた課題等の作成を支援する、デジタルドリルの導入や、オンラインで提供されているＩＣＴ活用事例集や動画教材なども活用し、引き続きＩＣＴ支援員によるサポートも行いながら、ＩＣＴの利活用を進めていく。

３・１人１台端末の利活用方策

（１）１人１台端末の積極的活用

Ｗｉ－Ｆｉ環境がない家庭でも、学校で作成したデジタル課題等に取り組めるよう、ＡＩドリルなどの教育支援ツール等を導入し、教職員の業務負担軽減を図りながら、ＩＣＴ利活用について学校間、学年間の均一化を進める。

（２）個別最適・協働的な学びの充実

デジタルドリルを活用し、自分自身に合った進度で取り組むなど、個別最適で協働的な学びの充実に務める。

また、近隣の市町村における事例を参考とし、授業や学習支援システムの活用を進める。

（３）学びの保障

端末を活用した不登校対策や、ヤングケアラーなど、表面化しにくい家庭の状況や、児童生徒の現状の把握、支援体制の構築など、先進事例や関係機関との情報共有を進めながら検討していく。